

栄光園だより

第122号

2021年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
<http://www.eikoen.jp/>
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

心の豊かさを 育てる食事



中島 知夏子

NPO法人 摂食コミュニケーション・ネットワーク理事長
社会福祉法人 栄光園 理事
摂食カウンセラー

感染症に負けないために

新型コロナウイルスの感染が、いまだ収まる気配がありません。先の見えない不安の中、ワクチンや特効薬が開発されるまでには、まだ長い時間を要すると思われれます。

ウイルスと一定の距離を置いて生きる「ウィズコロナ」の時代と言われる今、ウイルスと上手につき合い、重症化しないように自衛する以外ありません。

その対策の一つとして、何と言っても免疫の働きを高めて、身体に入ってきた外敵を自力で排除することです。排除する力を十分に発揮するため、食生活が大きな役割を担っているということは言うまでもありません。

※感染症に負けないためにたんぱく質やビタミン等を十分に補う食事を心がけましょう。

- 1 エネルギーをしっかりとる
肺炎に高熱などで多量のエネルギーを消費するため
- 2 たんぱく質をしっかりとる
ウイルス感染防御に多量のたんぱく質を消費するため
- 3 ビタミン等をしっかりとる
ウイルス感染防御に十分なビタミン(ビタミンA、C、D)が必要なため

前向きになる心を支える

毎日規則正しく、バランス良く食べることが病気に負けない身体と心を作り上げます。そして、身体を動かすための筋力や丈夫な骨、さらには前向きになる心を支えることも食事のもたらす役割といえます。新しい生活様式の中で育った子どもたちにとって、触覚、視覚、嗅覚、味覚の五感を使い、会話を楽しみながら囲む食卓が精神的な健康を保つた

めに必要です。例えば湯気の出るものを一品並べてみてください。「わぁぁ美味しそうだなあ」と思った瞬間に唾液が出て食べる意欲がわいてきます。

このように家族構成を含めて様々な形態がありますが、一般的に家族が揃って行う基本的な行為が「食べる」ことだと言えます。1日の二食を家族が揃って食卓を囲む、または誰かと一緒に食べる、一人で食べないということです。

朝は湯気の立つお味噌汁か、温めた牛乳やコーヒートの湯気で始まり、家族の一人ひとりお互いの健康状態を知らず知らずのうち、にチェックしたり、



謹賀新年

いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。 聖書

新しい年を神様の祝福の中で迎えたいと存じます。児童福祉法が改正され、子どもが権利の主体であることが明確にされ、新たな養育ビジョンが示され、新たな養育推進計画策定を行うことになりました。制度が変わり、ビジョンが示されようとも栄光園の子どもに寄り添い、家族や里親と共に子どもたちの自立を支援する姿勢は変わりません。コロナ禍ではありますが、私たちは、これからの地域の皆様が栄光園に関わりながら子育てすることが喜びとなるような福祉事業の展開を図る所存です。

今後とも旧倍のご交誼ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。この年も神様の豊かな祝福が皆様のうえにありますようお祈り申し上げます。

- | | | | |
|--------|-----|-------|-------|
| 社会福祉法人 | 栄光園 | 理事長 | 江口 敏一 |
| 児童養護施設 | 栄光園 | 施設長 | 岡田 豊弘 |
| 乳児院 | 栄光園 | 施設長 | 江口 敏一 |
| 青山保育所 | 所長 | 本庄 智宏 | |
| 野口保育所 | 所長 | 工藤 直子 | |
| 職員一同 | | | |

その日のご機嫌を伺うことで始まりです。昼食は学校や仕事場、それぞれの行動の場とることになります。夕食を囲むでは、その日の出来事を話したり、ぼやいたり、時には注意されたり、ケンカが始まったり、そんな繰り返し食卓を中心にして心の豊かさを育てることにつながるのではと考えています。食卓は家庭の、そして生活の中心的存在です。毎日朝夕が無理だとしても、どちらかだけでも家族が揃うか、誰かと一緒に食べる習慣が必要です。

うがい、手洗い、マスク着用やソーシャルディスタンスなどをした上で今までの楽しい食卓風景が戻るためにも新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりです。

児童養護施設

ショート・トワイライトステイの子どもを受け入れて

ムラカミホーム ホーム長 土谷 聡一

ムラカミホームでは小学生3名、高校生2名の女児が生活しています。

今年度、ショートステイやトワイライトステイの子どもがムラカミホームに来られる機会が多くなりました。最初は、緊張して大人しくしている子どもにもムラカミホームの児童が優しく声を掛けてくれたおかげでショートステイやトワイライトステイの子どももすぐに慣れました。

幼児のため部屋を走ったり危ない行為をすることもありましたが、ムラカミホームのお姉さんたちが優しく声を掛けたりしてくれ安全に楽しく過ごすことが出来ました。

日常の生活の中で幼児がいないのでショートステイなどの子どもが来られるとホーム児童も弟や妹ができたかのように喜んで一緒に遊んだり、優しく世話をしてくれたりと普段では見ることが出来ない姿を見ることができ、とても嬉しく思っています。定期的に来ていただけの幼児もおり、次にいつ来てくれるのかなど生活の中で話が出ることも多く児童も楽しみにしているようです。

中には幼児にどう関わっていいのかわからずにいる児童もおり様子を見たりすることもありますが、職員と幼児の間を介しながら学び、自分から関わろうとする姿が見られ成長を感じられることが

多々ありその姿にとっても嬉しく感じています。

ショートステイなどの利用を通して児童が地域の子ともたちと一緒に成長する姿が見られ職員共々嬉しく感じております。

コロナ禍で迎えたクリスマス

栄養士 佐藤 朱美

栄光園のクリスマススイブの夕食は、例年自由献立にしています。それぞれのホームで子どもたちと一緒に献立を考え、買い物から調理までをみんなで行っています。食材購入の経験をさせることも目的の一つになりますが、ホームによって構成する子どもの性別・年齢が異なり、好みも大きく異なるため、一律の献立ではなく自分たちの好きなものを一緒に作り、楽しいパーティーを行うことを一番の目的に実施しています。

しかし、今年はコロナ禍のため、例年行っているクリスマス祝会も中止となつてしまい、全員そろつてのクリスマス会食がなくなつてしまいました。そこで、子どもたちの大好きなお寿司とチキンは用意し、その他の献立をそれぞれのホームで考え、作ってもらふこととしました。調理担当になつた職員が主体となり、ホーム



ごとに特色のある献立になりました。よく食べる中高生の男の子が多いホームは、職員が腕を振るい、これでもかというくらいボリューム満点なメニューにしたり、沢山の種類のおかずを用意しました。

女の子のホームは、お寿司とチキンにサラダやスープをプラスするといった軽いメニューが多かったのですが、盛り付けを可愛らしく工夫していることが印象的でした。調理担当になつた一年目の職員は、クラッカーの上にポテトサラダを山形に盛り付け、ツリーに見立てるといった技ありの盛り付けを披露し、子どもたちを喜ばせていました。それぞれのホームから楽しそうな音楽や笑い声が聞こえ、無事に楽しいクリスマスを過ごすことが出来ました。

また、今年はコロナの影響に鑑み、お正月のおせちも初めて購入することにしました。ホームごとにカタログの中から好きなものを選んでもらいましたが、手作りとはまた違う豪華な写真を前に、子どもと職員と一緒に目を輝かせながらどれにしようかと選ぶ姿がありました。普段食べ慣れない料理に対して、警戒心を持つ子どももいますが、「これは何だろう?」ときっとみんな楽しんでみながらお正月の食卓を囲んでくれることだと思います。

何事においても自分たちで考え、決めることが出来るということは良い機会になり、より一層興味を持つことに繋がって行くように思います。食事においても一方的に提供するだけでなく、自分たちで献立を考え、作るという自由献立のような機会や自分たちで選択出来る機会を大切にし、作ることや食べるにより興味を持つてもらえればと思っています。

社会に旅立つために

ウエストホーム 平田めぐみ

ウエストホームには、今年度で社会に旅立つ高校3年生がいます。

小さい時から栄光園で過ごしてきましたがいよいよ社会に旅立つ時がやってまいりました。

私は、2年前に女子棟より男子棟のウエストホームに異動になりました。本児も私と同じく2年前にウエストホームに移動になり、担当やホームも変わったことと不安な気持ちだったと思います。私も初めての男子を担当することで不安がありましたがお互いに新しいホームと一緒に慣れて行けるようにしようねと話しました。そんな中でも本児はホームの職員や周りの児童にあたたかく迎えてもらい安心した生活を送ることができたと思います。

本年度は、ホームのメンバー構成が変わり、今までいかなかった幼児が加わり、手がかかるといふことで、我慢をしてもらうことが多かったかもしれません。そのせいか私が台所で調理をしているとカウンター越しにその日あったことを話してくれたり手伝いをしてくれます。

大好きなアニメのキャラクターの話題

など興味があることを楽しそうに話し始めます。「その笑顔いいね」と伝えるとその笑顔でスタッフを和ませてくれます。本年度はホームの最年長として周りへの気配りをしたり幼児のお世話をしてくれるなど成長を感じることができました。

学校生活では陸上部のキャプテンとして頑張ってきました。今年度はコロナの影響で体育祭や文化祭も中止され彼が思い描いていたような高校生活が送れず不安や憤りがあると思いますが卒業に向けて気持ちを切り替え頑張っています。

栄光園では、長期休みに社会に旅立つ準備として多目的棟を利用して一人暮らし体験をしました。今まで集団で生活しており必ず大人や他の児童がいたため、一人になることはなかったと思いますが、社会に出るとそうはいきません。食事を作ったり洗濯したり、部屋の掃除や片づけをしたりと自分で色々なことをしなくてはなりません。特に健康の源である食事作りについては、限られた予算で食事のメニューを考え、買い物をするなど良い学びになったと思います。

また、SST(ソーシャルスキルトレーニング)でマナーや、お金に関すること、公共交通機関の使い方などを学び、今では一人でバスや電車を使って実習先に行くことができるようになりました。

これから社会に出て色々な場面ですみずいたり、失敗したりするかもしれません。周りの方に相談したり支えてもらいながら少しずつ大人になってほしいと思います。



旅立つ児童より

栄光園での思い出 A・D

僕は、4歳から14年間栄光園で生活を送りました。14年間で、たくさんのお思い出をつくりました。

振り返ると様々な思い出があります。数ある思い出の中でも、僕が中学1年生の時に栄光園のみんなとユニバーサルスタジオジャパンに行ったことが一番印象に残っています。栄光園のみんなで船に乗り大阪まで行き、船の中では興奮してなかなか眠れませんでした。ユニバーサルスタジオジャパンではたくさんのおトラクションに乗って楽しかったです。

栄光園で過ごす最後の一年は新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止になったこともあり、栄光園のみんなとユニバーサルスタジオジャパンに旅行に行ったことはとても印象に残っています。

僕は卒業後、太陽の家での就労移行支援を受けることが決まっています。グループホームで生活を送りながら、2年間自分にあつた仕事を見つけていく予定です。支援学校で学んだことや、栄光園での生活を思い出しながら卒業後もしっかりと頑張ろうと思います。



2021年1月9日雪の日に

聖書の言葉

「涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。」

別府不老町教会伝道師 尾崎 二郎

(詩編126編5節)

親愛なる栄光園の皆様、新年おめでとうございます。また年賀状を有難うございました。私はその文面を拝読して「制度が変わり、ビジョンが示されようとも栄光園の子どもに寄り添い、家族や里親と共に子どもたちの自立を支援する姿勢は変わりませぬ」という一節に心を打たれました。どのような状況の中でも、子どもに寄り添い、その自立を支援するという根本にある思いが感ぜられたからです。

このような栄光園のお働きは、本日も紹介しました御言葉に出て来ます「種蒔く人」の営みにもつながることでしょう。この種蒔く人の様に、聖書に出てくる人物は大抵涙もろくて、悲しい時には、川のように涙を流し、落ち込んだ時には「昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり」と言いながら自分を慰めていたようです。

今日の私たちの社会でも泣きたくなるような場面は随分増えてしまいました。今までの私達は、聖書の登場人物のように素直に人目も憚らずに涙を流すという事に慣れていません。そこら辺の事情を心理カウンセラーの竹内好美さんは次のように述べられます。「カウンセリングをしてい

ると、「大人になってからほとんど泣かなくなつた」という方にもお会いします。もちろん泣く以外のストレス解消方法を知っているから涙を流す必要がないのかもしれませんが、けれど、実はストレスが溜まっているのに、無意識に泣く行為を抑えようとするメカニズムが身体に定着していることがあつて、いわば「泣かないクセ」がついている状態です。

涙を流さない大人が普通とされる今日の社会で、この泣かない習慣は、私たちをさらに辛い状況へと追い込むのではないのでしょうか。

聖書は私たちに涙を流すことを許しています。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙12:15)と聖書は勧めています。又、「今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶこととなる」(ヨハネによる福音書16:22)とも記されています。

父なる神から私たちに降り注いでいる大きな愛は、私たちを一人ぼっちにはしておかれず、その悲しみをやがて大なる喜びへと変えて下さるのです。

乳 児 院

保育主任 本庄公多子

あけましておめでとーございませう。本年もよろしくお願いいたします。

昨年はコロナ感染の影響で、計画をしていた行事や外出ができず、子どもはもちろんのこと職員も体調管理に気をつけながら過ごしてまいりました。コロナが収束するのはまだまだ先のような気がしますが、今年も子どもたちが元気で、笑顔があふれるように、職員一同頑張っていきたいと思っております。

サンタさんがやってきた①

毎年12月24日の夜はクリスマスのごちそうを皆で食べるのですが、今年は何んと途中でサンタクロースがやってきました。ごちそうを美味しそうにほおぼっていた子どもたちは、最初は誰がやってきたのかわからず、ぼか〜んとしてしまいました。そのうち、じーっと見つめたり、傍に居た職員にしがみついて泣き出したりなど、子どもたちは様々な反応をしていました。サンタさんがデザートを配ってくれると、しっかり手を伸ばしてもらって食べていました。

でも…あれ？
プレゼントは？



サンタさんがやってきた②

次の日、3時のおやつにクリスマスケーキを食べた後、またまたサンタさんがやってきて、子どもたちにプレゼントをくれました。昨日とは違って、子どもたちはニコニコ顔でクリスマスツリーの前でサンタさんと一緒に写真を撮りました。



さっそくそれぞれの部屋に戻ってプレゼントを開け、「わー」と言わんばかりに目を輝かせておもちやを手にとっていました。子どもたちが嬉しそうに遊ぶ姿を見て、サンタさん(実は担当職員)も「喜んでくれて良かったな」と嬉しそうでした。笑顔の子どもたちに、私たち職員もとても幸せな気持ちになりました。

凧揚げ

1月1日はお天気が良かったので、うさぎグループ、ぞうグループはグラウンドで凧あげをしました。最初に職員があげてみせると、「ぼくも」「わたしも」というようにそれぞれ凧を手を持っていました。まだちょっと難しいかな？という様子でしたが、職員に凧を持ってもらって、ちょっぴり凧をあげた気分になった子どもたち。今年もお出かけはまだ当分できそうにないけれど、体を動かしたり、楽し

い遊びを教えてもらって元気に過ごそうね。



青山保育所

見たい！聞きたい！
お話したい！

保育士 阿部 梢

最近、言葉の理解や発語などの表現が著しく豊かになってきているうさぎ組0歳児のお友だち。絵本に登場する動物などを見て「わんわん(犬)」「がお(ライオン)」「ぞう(腕を振り再現)」とジェスチャーを交えながら知らせてくれたり、読み聞かせの中に繰り返し出てくる簡単な言葉のフレーズを覚え、保育士と一緒に話したりする姿も見られるようになりました。まだ発語まではいかない子どもも指差しや喃語の発音が盛んになり、表情や仕草などで一生懸命伝えようとする姿が見られます。今後そんな子どもたちの「伝えようとする力」「発信しようとする力」を十

分に認めていきながら応答的な関わりが出来るよう心がけていきたいと思っております。特にこの年齢の子どもたちにおすすめの絵本はリズムミカルな言葉のフレーズが繰り返されているものです。子どもたちも保育士の真似をして一緒にセリフを言うような姿が見られます。皆さんの絵本選びの参考になれば幸いです。



みんなで頑張った発表会

保育士 松本 真人

青山保育所は、12月19日に別府市公会堂大ホールで発表会を行うことができました。感染症対策を行い保護者の方にも様々なご協力をしていたいただき無事に終えることができました。子どもたちの発表会の練習は11月から始まり、別府市公会堂やコミュニティセンターまで行って練習することもありました。歌や劇、ダンスと練習を重ねることに少しずつ上手になる喜びを感じながら練習する姿が見られました。また、大きなステージで自分たちが頑張ってきたものを見てもらうという経験は、大人になってなかなかできるものではないと思います。本番前は緊張している様子もありましたが、とても楽しんでス



クリスマス会がありました!

保育士 大海さくら

クリスマス会当日にテールプルや玄関に飾るお花を5歳児のお友だちが、地域のボランティアの方に教えて頂きながら生けました。色鮮やかな生花を見て子どもたちは目をキラキラさせていました。はさみで切るときは、茎の長さにも気を付け、どうしたらきれいに見えるか真剣な表情で生けていました。

園庭や散歩でもお花に触れることはありますが、改めて落ち着いた気持ちでお花に触れたり飾りつけをしたりするのは、とても貴重な体験でした。「発表会が終わったらクリスマスでな」と何日



「ステージに立つ子どもたちを見て、また一つ成長したなと感じました。発表会を通して子どもたちが付けた自信を普段の保育にも活かせるように過ごしていきたいと思います。」



も前からクリスマス会を楽しみにしていた子どもたち。クリスマス会当日は「サンタさんは来るかなあ」とルンルンで保育園に登園して来ていました。5歳児の子どもたちが可愛らしいトナカイとサンタクロースに変身して「赤鼻のトナカイ」の歌とポディーパークッションを披露し、会場を盛り上げてくれました。その後はクリスマスやサンタクロースについてのお話を聞きました。保育園にサンタクロースからの手紙とプレゼントが届いており、大喜びの子どもたちでした。

みんなでお手伝い!

保育士 清原 里奈

子どもたちが、大好きなおやつ「焼き芋」の準備をお手伝いしました! いつもは熱々ホクホクの焼き芋を手に何度もおかわりをして食べている子どもたちですが、目の前にあるのは固いさつまいも…。不思議そうに眺めている子どもたちの姿がとても可愛かったです。

準備の過程を説明して「みんなでおいしい焼き芋を作ろうね」と伝えると子どもたちもやる気満々で腕まくりをしていました。水の中でさつまいもを洗うと



「ひゃあ〜! 冷た〜い!」と騒ぎながらもゴシゴシと綺麗に洗っていました。新聞紙に包むことに苦戦しながらも、回数を重ねるごとに上達して夢中になっていた子どもたちです。午後のおやつでは、頑張ってお手伝いした焼き芋を、嬉しそうにほおばりいつもの以上にたくさん食べていました!

.....

昨年は、新型コロナウイルスの感染が全世界に広まり、青山保育所にとっても大変な年となりました。そんなコロナ禍においても、子どもたちには変わらずたくさんの経験をしてもらいたいと、様々な工夫をして保育してまいりました。本年も昨年同様感染対策を講じながら、お預かりした大切な子どもたち一人ひとりを全職員でしっかりとサポートしていきたいです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

青山保育所 職員一同

野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

明けましておめでとございます。本年もよろしくお願致します。昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですがご紹介します。

運動会

今年度はお家の方に「理解・協力」をして頂き、子どもたちの安全に気を付けつつ、コロナ対策もしながらの運動会を榮

光園グラウンドで行いました。例年とは違う運動会でしたが、今年はお家の人が子どもたちの顔写真のついたうちわを振ったり拍手での応援を受け、子どもたちは最後まで頑張っていました。子どもたちの良い経験になり、また一つ成長したのではないかと思います。

ハロウィンパーティー

今年は、3歳児と4・5歳児がハロウィンパーティーを各クラスでしました。自分で作った帽子や衣装を着て、いざ「Trick or Treat!!」と言いながら園長先生や給食の先生にお菓子をもらいに行きました。



4・5歳児クラスは真っ暗になった部屋の中で肝試し…包帯男に変身した保育士から「お菓子釣り券」をもらい、子どもたちはお菓子釣りを楽しんでいました。ハロウィンのダンスも踊り、子どもたちにとって楽しいイベントになりました。

シェイクアウトに参加しました

11月5日市内一斉安全確保行動訓練「シェイクアウト別府」に参加しました。



サイレンの音に驚く子どももいましたが、保育士と一緒に布団や机の下に隠れ、その後は静かに避難しました。

毎月避難訓練をしていることもあり、保育士の話を聞いて静かに避難したり地震の時の約束などよく覚えていました。毎月の避難訓練の大切さを改めて感じました。

味覚祭り

秋と言えば「味覚の秋」ということで、食育の一環で秋の食材を使った味覚祭りを行いました。



未満児クラスは保育士のクイズに答えたり、さつまいも・人参・大根の匂いを嗅いだり触れたりしました。3・4歳児は野菜・きのこをちぎり、5歳児は大根・さつまいも・人参を包丁で切りました。保育士と一緒に包丁で慎重に切りました。が、切り終わるとすごく嬉しそうでした。

この日の給食はぼかぼか陽気の中みんな園庭で食べました。

給食の先生がテラスでメニューのブルコギやきのこ汁を作ってくれたので、園庭中良い匂いに包まれました。子どもたちもたくさんおかわりして食べました。

発表会

今年の発表会が行えるのか不安もありましたが、12月5日(土)に無事に行うことが出来ました。

運動会など経験したこと、子どもたちの自信につながり、また一段と成長した子どもたち。当日はお客さんの前でも緊張しながらも最後まで踊ったり、歌ったりと子どもたちの心も身体も成長した姿をたくさん見てもらえたのではないかと思います。

もちつき

今年の餅つきは、特に衛生面に気を付けたながら実施いたしました。小さいクラスの子どもたちが「ぺったんこ〜」と歌いながら応援してくれる中、りんご・めろん組の子どもたちがお餅をつきました。お餅つきをした後には、つきたてのお餅や給食をたくさん食べていました。

クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会がやってきました！保育室や廊下・窓に飾りがつくこと一気にクリスマスの雰囲気になり、子どもたちはクリスマス会当日を楽しみにしている様子でした。会の中でアンパンマンやバイキン



マン、ドキンちゃんも登場し子どもたちは大興奮。おやつの中には先生サンタさんから、一人ずつプレゼントをもらいニコニコでした。

クリスマスランチや3時のおやつを堪能し、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができたクリスマス会になりました。今年度も残り少なくなり1年を締めくくる行事がまだまだ控えています。引き続き園でもコロナ対策をしながら子ども一人ひとりとしっかり触れ合い、子どもたちが毎日楽しく安全に過ごせるように職員全員で頑張っています。

野口保育所 職員一同



地域交流事業

集いの場くるみ

2020年は、1月からコロナウイルス感染拡大で大変な一年となりました。あらゆる業種において、これまでの経済構造が一変してしまうほどの影響を受けました。集いの場くるみもご多分に漏れ

ず、月に一度の活動を自粛することが多かったです。もともと人とのつながりを作っていくというものだったので活動の内容もかなり変えていく必要も出てきました。人との距離をとり、人とのかわりを少なくするなどこれまでの活動内容と逆行するものでした。しかし、人とのつながりは、人間が生きていく上で必要不可欠なものであるということが、コロナ禍の中で証明されたのではないのでしょうか。どうやって人と繋がっていくかを模索し、これまでできなかったような様々なつながりが出てきました。子どもたちを温かい地域の中で社会の宝物として育てていくという思いを持ちつつ、感染防止対策もしっかりとした上で活動を継続させていきたいと考えております。今後ともご理解ご支援のほどよろしくお願いたします。

集いの場くるみ 活動報告 10月 ハッピーハロウィン

10月25日にハッピーハロウィンの活動をしました。ハロウィンクイズ、黒猫制作、ハロウィン🎃ビンゴなど盛りだくさんの内容でほぼ2時間の活動時間があっという間に過ぎました。

今回は、英語教室も開いていらつしやる中東先生が、いろいろな遊びを企画してくださり、遊びの中で英語に触れる機会を多く持つことができました。

特に子どもたちが熱心に取り組んでい



たのが「黒猫制作」です。一人ひとり工夫しながら黒猫を作っていました。個性的な黒猫が何匹も完成しました。



そして、ハロウィンビンゴでは、ゾンビや、こもり、魔女などを英語で聞きながらビンゴシートにシールを貼りビンゴを目指しました。英語の発音をしっかりと聞き取りゲームを楽しんでいました。楽しく英語に触れる機会となったのではないのでしょうか。

11月「焼き芋」

今月は、別府市内でコロナウイルス感染者が出たということで活動は中止いたしました。しかし、サツマイモなどを準備しておりましたので、焼き芋を焼いたり、羽釜でご飯を炊いたりしました。



薪となる枯れ枝や落ち葉を集めたり、火吹き棒で火をおこしたりと栄光園内の子どもたちが積極的に手伝ってくれました。暖かい日差しの中、芋を焼いたり、アツアツの焼き芋やおにぎりを頬張ったりしてのんびりと過ごしていました。いつもくるみに参加してくれている子どもたちや地域の方も顔を見せたださりありがたかったです。



こんなゆつたりとした温かい時間をみんなでも共有できたことをうれしく思います。

す。ご協力いただいた方々に感謝いたします。ありがとうございます。

12月「メリークリスマス」

12月は、子どもたちと一緒にソーシャルディスタンスを保ったうえで、クリスマスが集まりをする予定でしたが、別府市でも感染者が多数出てきたため開催を中止いたしました。しかしながら、今回は、クリスマスプレゼントや、ケーキなども準備していたのでプレゼントやケーキを子ども達にお渡しすることといたしました。寒い中くるみに足を運んで下さり、ありがとうございます。子どもたちの元気な笑顔を見るのができ安堵いたしました。

皆様にとくさんの幸せが訪れますように！



地域支援担当 原田 康子

2020年度12月 職員の動静
退職 ● 乳児院
山口 三穂 (保育士) 12月31日付

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私

職員への励みに大変大きな力となっております。ことをいつも嬉しく思います。

児童養護施設の子どもの進学等を重点的に支援する目的で始めた『自立進学資金(栄光園ファミリークラブ)』の枠は上級学校への進学により社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。現在当園でも中高生が児童の6割を占めるようになりました。どうか子どもたちの未来にお力をお貸しく下さい。よろしくお願いたします。

栄光園をお支えいただいております皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。
【2020年10月1日より2020年12月31日まで】

賛助金

- 安部道人様 大分市
- 安部保様 大分市
- 宇戸美和子様 大分市
- 尾崎二郎様 別府市
- 影山隆之・由利様 大分市
- 金谷正明様 大分市
- 鎌田宏子様 大分市
- 吉良頌三様 別府市
- 木村洋子様 大分市
- 立花旦子様 大分市
- 津田眞五様 大分市
- 永尾福康様 別府市
- 日本基督教団門司教会様 北九州市
- 長谷川士郎様 別府市
- 平野八郎・紀美代様 別府市
- 別府不老町教会様 別府市
- 帆足和生様 別府市
- 宮沢淑子様 大分市
- 山口産業(株)様 別府市
- 山光建設様 富田林市
- 秋吉タミ店様 別府市
- 伊勢方信様 別府市
- 岩田哲也様 大分市
- エンジヨイゴルフ大分事務局様 別府市

一般寄付

- 大分銀行労働組合様 大分市
- 大宮遊技場組合様 さいたま市
- (株)一粒社ウォリス建築事務所様 福岡市
- 亀井浩様 別府市
- 川本順平・智子様 別府市
- 北九州復興教会様 北九州市
- ケイヘアーのお客様様 大分市
- 小手川裕市様 別府市
- kohaku(有)様 別府市
- 貞閑孝也様 大分市
- 佐藤産婦人科医院様 豊後大野市
- 三栄建設工業(株)様 大分市
- 社交ダンス同好会ロンデ様 大分市
- 袖淵三枝子様 中津市
- 第一生命労働組合大分支部様 大分市
- 高木政嗣様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- ナミエル様 市川市
- 日本競輪選手会大分支部様 別府市
- 萩野克彦様 箕面市
- 原順子様 別府市
- 福本陽子様 姫路市
- 別府不老町教会婦人会様 別府市
- 松本小児科 松本重孝様 別府市
- 矢永尚土様 別府市
- 飯田法子様 別府市
- 安部良一様 日出町
- 安東秀典様 大分市
- 大山翔司・エリ子様 大分市
- 岡口文明様 大分市
- 梶原康弘様 大分市
- 神鳥慶子様 杵築市
- 川本順平・智子様 別府市
- 萩野克彦様 箕面市
- 波多野郁子様 別府市
- 平川順子様 別府市
- 南範子様 中津市
- じゃが芋 NPO法人麦の会様

自立進学資金

特別物品寄付

グッズ W A R A W A 代表 濱田英樹様
千羽鶴 安部喜美子様
お菓子 池見佳子様
パン 石窯工房モコモコ別府店様
さつまいも 伊藤一幸様
クリスマス教DVD
いのちのことは社通販課定期購読課様
みかん 上杉敏三様
リンゴジュース 江藤行大様
なし 大分県なし研究会会長 梶原智俊様
ジュース
大塚製菓(株)福岡支店大分出張所様
カボス・かぼちゃ 大津留亀寿様
お菓子 三栄建設工業(株)様
お菓子・クリスマス雑貨 (株)ジャムズ様
アゴエズスープ (株)ソラシドエア様
食品 (株)フレイン取締役会長 下田英隆様
お菓子 (株)ユーコー南のケ浜店様
服・自転車・ランドセル 川邊正哉様
本 九州労働金庫別府市支店様
書籍 松井直樹様
書籍 (株)モリサワ様
食パン 銀座に志かわ17号店大分明野店様
クリスマスプレゼント 釘宮英子様
クリスマスケーキ 工藤智美様
米 甲原英江様
パン ココラート様
後藤正巳様
ジュース さわやか別府の里 小野雅幸様
お菓子 三栄建設工業(株)様
シャンメリー 全国シャンメリー協同組合様
子ども衣類 白石郁様
米 杉町圭蔵・千穂子様
お菓子 ダイヤモンド(株)様
衣類 高木良司様
みかん 竹下斉様
おせち だっこぼらんていあ様
おせち 一般社団法人ぐるーん様
おせち アサヒビール(株)様
みかん・お米 田中喜久男様
弁当 田中ムツ子様
未来年コナン 匿名様
米・にんにく 匿名様
アイスケーキ 匿名様

パン 友永パン屋様
みかん 中村耕吉様
果物 中山田正春様
野菜・果物 二宮洋典(株)九州錦運輸様
米 二宮篤様
鏡餅 日本鏡餅組合様
お菓子 日本競輪選手会大分支部様
衣類 原岡茂子様
タオル 原順子様
お菓子 福本陽子様
みかん 里の駅ふるさと市場R213木付弘子様
カレンダー 藤田奈保子様
本・おもちゃ等 フナキカイツウ様
お菓子・水
別府国際観光港みなとまちづくり協議会様
ジュース 別府市役所様
花の苗 別府ロータリークラブ様
さつまいも 松川正明様
消毒スプレー 三浦亜子様
米・さつま芋 本林優司様
お菓子 山本花織様
クリスマスケーキ (株)安部製菓様
おかし ヴィーナスキャリー別府 野村秀樹様
クリスマスケーキ (株)TN保険ひろば様
衣類 (株)トスカンパニー様
図書紹介者 久良岐乳児院院長 長井晶子様
図書 横浜幸銀信用組合様
米 吉田圭一・雅子様
ハンカチタオル 陸上自衛隊別府駐屯地様
お茶 大分県農業共済組合様
南荘園町自治会長 阿部勝之様

招待・奉仕
小中学習ボランティア
安東秀典・井上せつ子・山口香様
児童の散髪 Kヘアー様
金曜学校
尾崎二郎・庄司宣充・吉武二郎様
スポーツボランティア ティム・ディック様
ハンドマッサージ 三浦・北山・平川様
書道 荒金節子様
城島高原パーク招待
(若手)ミスター下藤協会JA天分農会 尾崎隆様
七五三写真 木村写真場様
七五三着付け エッチ美容室様

くるみボランティア
平川義文・平川順子・前田綾子様
森本里菜・中東洋二様

**ボランティア
ありがとうございます**

栄光園の子どもたちは、毎月「Kヘアー」さんに髪をカットしていただいておりますが、昨年12月が「Kヘアー」さんとしての最後の散髪となりました。今後は、新しく出店する「WEST VILLAGE」Beauty MOREとして引き続き散髪ボランティアを継続してくださるとのことです。ありがとうございます。月に一度の訪問を心待ちにしている姿や、安心して身をゆだねている姿を見るにつけ感謝の言葉しかございません。皆様の丁寧なお仕事や温かい気持ち子どもたちに伝わっていたのだと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

**素敵なクリスマスプレゼント
ありがとうございます**

毎年クリスマスには、お心ある方々からたくさん温かいプレゼントをいただきます。子どもたちの大好きなケーキやお菓子など様々な贈り物を届けていただきました。皆様の温かいお心に感謝いたします。その中の一に別府不老町教会の教会学校の皆様よりいただきました手作りのタペストリーがございました。クリスマスツリーと天使の絵柄にメッセージが添えられておりました。温かいメッセージをありがとうございます。心がほっこりと温かくなりました。



賛助会員募集
年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。
口座名義 社会福祉法人 栄光園
口座番号 019300220748

苦情等相談窓口
*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記
2020年は、コロナに始まり、コロナで終わった1年でした。新しい年は、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まりますが、収束が見えてくるのでしょうか。ウイルスの変異が起きるなど、なんとも不透明な状況です。ただ、感染しない感染させないよう一人ひとりが自覚を持った行動をとっていきことが収束への近道のような気がしています。
また、人とのつながりの大切さに気付かされた1年でした。今後は、新たなつながり方を考えていきたいと思えます。コロナ禍の中ですが皆様どうぞお体を大切にしてください。
本年が笑顔いっぱい年の年となりますよう願っております。
(原田)